

伊藤仁斎

2016 年追試

問 4 江戸時代の儒学者についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 雨森芳洲は、堪能であった朝鮮語の能力を生かして朝鮮使節を応接するとともに、外交関係の構築には誠意と信頼を根本とした「誠信」が重要であると説いた。
- ② 新井白石は、文治主義による政治の実践に関わるとともに、密入国したイタリヤ人宣教師への尋問を通して、世界の地理やキリスト教に関する新たな知識を摂取した。
- ③ 山鹿素行は、朱子学で説かれる理を観念的なものと批判し、古典の言葉を正確に理解する古学の方法によって、六経に記された先王の道を学ぶべきであることを主張した。
- ④ 伊藤仁斎は、『論語』や『孟子』に説かれた言葉を、朱子の注釈に ^よ拠らずに熟読して深く理解しようとする古義学を唱え、「忠信」の実践による「仁愛」の実現を強く求めた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 4	23	③	3

2013 年追試

問 5 伊藤仁斎の著作として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① 『童子問』
- ② 『春鑑抄』
- ③ 『弁道』
- ④ 『聖教要録』

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 5	25	①	2

2011 年本試

問 4 伊藤仁斎が朱子学者を批判した内容として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① 彼らは，社会で定まっている上下の身分も徳の有無によって入れ替わるという易姓革命の理を説いたため，他者に対してむごく薄情になりがちである。
- ② 彼らは，形式的な理によって善悪のあり方を厳しく判断してしまうため，少しの過ちも許さない傾向に陥り，他者に対してむごく薄情になりがちである。
- ③ 彼らは，天人合一のための修養として私欲を抑える愛敬を重んじたが，私欲を抑えることの強制は，他者に対してむごく薄情になりがちである。
- ④ 彼らは，心に内在する良知と理としての行為とを一致させるべきであるという知行合一を説いたため，他者に対してむごく薄情になりがちである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問4	17	②	3

2010 年追試

問 5 町人出身の伊藤仁斎は、理を追究しすぎると他者に対して残忍酷薄になるとし、己れを尽くす忠信や他を思いやる 恕^{じよ}を実践し、理想に近づくことを説いた。理想のあり方をめぐる伊藤仁斎の主張を表した文章として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 仁の徳とは 宏^{こう}大^{だい}なものである。しかし、一言でもってこれを言い尽くそうとすれば、愛そのものにほかならない。
- ② 天下を安んずるには身を修めることが根本だが、しかし、必ず天下を安んずるという心がけに基づかねばならない。それが仁である。
- ③ 礼とは人に慎みがあつて、物事の順序を乱さないことを言う。若者が老人を敬い、身分の卑しい者が高い者を尊ぶことが礼である。
- ④ 理想としての道が実現していたから道という言葉がなく、道という言葉はなかったけれど理想としての道は実現していた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 5	18	①	3

2007 年本試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

儒教を積極的に受容した江戸時代、儒教の立場から「和」の問題を思索した人々
がいた。例えば、伊藤仁斎は、人と人との理想的な和合である仁を実現するため
は、他者に対する が必要であると説いた。仁斎は、人間の気質が同じでなく、
好みも多様であることを認識していたからこそ、寛大な心をもって他者に接する必
要性を説いた。

- ① 愛 敬 ② 忠 信 ③ 慈 悲 ④ 義 理

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	13	②	2

2007年追試

問3 後年の仁斎は、真実を求めて思索する過程において、^{ひる}怯まず前進できる者は少なく、「自暴自棄*せざる者は、千百の一二のみ」と述べている。仁斎が長い思索の末に到達した思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。（*自暴自棄：「自ら^{そこな}暴ふ」「自ら^す棄つる」と訓む。） 15

- ① 真実を求めて自暴自棄に陥ってしまった者は、性の善を説く孟子の教えから、自分のなかにも善の可能性のあることを学び、善の可能性を拡充していかなければならない。
- ② 真実を求めて自暴自棄に陥ってしまった者は、性の善を説く孟子の教えから、自暴自棄が本来の状態でないことを学び、完全な善は断念し、わずかに残った善を大切に維持しなければならない。
- ③ 真実を求めながら自暴自棄に陥っていない者は、性の悪を説く荀子の教えから、自暴自棄がいずれ自分にも訪れることを学び、外なる規範に従って予防しなければならない。
- ④ 真実を求めながら自暴自棄に陥っていない者は、性の悪を説く荀子の教えから、人は必ず自暴自棄に陥ることを学び、自暴自棄に陥った者に手をさしのべていかなければならない。

問5 文章中のAに入れる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。17

近世の中ごろ、若き伊藤仁斎は家族の反対を押し切って朱子学に没頭していた。ところが、そこで真理とされていたものと現実との間に^{あつれき}軋轢が生じ、仁斎は深刻な精神的危機に陥った。仁斎は現実の自己が道から隔絶してしまっているという感覚に^{とら}囚われてしまったのである。その後様々な精神遍歴を経て、仁斎は朱子学を批判しながら独自の儒学思想を練り上げていくことになるが、それを支えたのは「最上至極宇宙第一の書」である『論語』であった。仁斎は『論語』において、道を初めて自覚した存在としての孔子に出会ったのである。自己の生きる意味を根拠づける道はAにあるということ、仁斎は改めて発見した。

- ① 朱子学と日本の伝統的な神道とを結び付けたところ
- ② 人が一時も離れられない具体的な日常世界たるこの人倫
- ③ 民の道徳的指導者としての役割を果たす武士の職分
- ④ 万物の根本原理である孝の時・処・位に応じた実践

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問3	15	①	3
第3問	問5	17	②	3

2004 年本試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

近世に生きた伊藤仁斎においても、自己における理想と現実との葛藤^{かつとう}は新たな思想の契機となった。当時、主導的な思想であった朱子学は、心を統御し専一にする

を重んじ、あるべき道としての理を窮め、天理に合致した聖人になることを理想としていた。仁斎は、当初朱子学に傾倒して聖人になることを目指し、全精力を傾けた。しかし、天理に合致することは実現しがたく、充足感を得られなかった。仁斎は理想と現実との乖離^{かいり}に苦しみ、やがてその理想を疑い始める。理想を見失った孤独と不安の中で、ひたすら読書と自己吟味を続けた仁斎は、現実の日常的な生の中に、人間の新たな真実を見いだしたのである。仁斎によれば、 という。新たな思想を抱いた仁斎から見れば、朱子学者は厳格な形式主義に陥り、日常の生の意味をくみ取ることができず、人々が営んでいるあるがままの生を否定的に捉えがちなのである。

- ① 誠 ② 信 ③ 敬 ④ 忠

問 6 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

- ① 道は抽象的な理ではなく、善くも悪しくも生まれついたままの真心であり、その真心に立ち戻るべきである。そのためには朱子学や仏教のように理屈で道を捉えようとする精神を捨てなければならない
- ② 日常卑近な人間関係における愛はかすかで小さいが、その愛こそ拡充すべき実の心である。人々が孔子の道に立ち戻り、他者に対して忠信や 忠恕^{ちゅうじよ}に努めるならば、互いに愛し親しむ和合が実現する
- ③ 天道は事物のおのずからの働きであるが、そこに人道が加わることによっ

て事物は完全になる。人道とは日々の生活における分度と推譲であり，それによって天地や他者の恩恵に報いなければならない

- ④ 日々営まれる農業こそ，自然の根源的な生成活動としての天道にかなうものである。万人が直接に農業にたずさわる自給自足の生活に復帰すべきであり，農民に寄生している武士や町人は無用である

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問1	21	③	2
第3問	問6	27	②	2

2004 年追試

問 1 文章中の 19 に入れるのに正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

19

江戸時代の思想の主流となったのは儒学思想であり，なかでも大きな影響力を有したのが朱子学であった。それに対し，あらためて古典に復帰することで朱子学の説く人の在り方を覆そうとしたのが，古学派の儒者たちである。伊藤仁斎が『19』を「最^{さい}上^{じょう}至^し極^{ごく}宇宙第一の書」と呼んで尊び，荻生徂徠が「学問は歴史に究極する」と述べて「六^{りく}経^{けい}」を重んじたように，彼らは人の在り方の根拠を，特定の経書や歴史の中に求めることで，「相親しみ，相愛する」人の在り方や，人の本来的な多様性を説いたのである。

- ① 大 学 ② 孟 子 ③ 中 庸 ④ 論 語

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	19	④	2

2001 年本試

問 6 古学派の立場をとった人物として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 伊藤仁斎 ② 荻生徂徠 ③ 山鹿素行 ④ 新井白石

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	8	④	2

2001 年追試

問 3 文中の **A** に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

伊藤仁斎が説いた **A** を意味する「誠」も、「誠は天の道なり」という経書の言葉をもとに、天地万物の根源的あり方と関連づけられていた。そもそも朱子学においても「居敬」と「窮理」という修養によって、人は「誠」に至ることが可能となり、あらゆる人間関係の規範が成立すると考えられたのである。

- ① 他者に対するつつしみを重んじ、静寂な心を維持すること
- ② 他者に対する思いやりをもち、自らのわがままを抑えること
- ③ 他者に対する言行や心意に嘘うそや偽りが無いこと
- ④ 他者に対する関係を上下の分に照らして捉とらえること

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 3	20	③	3